

# あいあいあい



生活協同組合  
coop あいコープみやぎ  
発行

生活協同組合あいコープみやぎ理事会  
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町3丁目4番17号  
TEL. 022-284-7241 FAX. 022-284-6973  
<http://www.mamma.coop>

## main contents

- 1 理事長あいさつ
- 2 高橋社長と行く石巻
- 4 特集 Wa! わぁ祭り
- 6 専門委員会から
- 7 エッセー、ジョイケア
- 8 みんなのあいごはん

## 復興の現状をリアルに伝えたい

生活協同組合あいコープみやぎ 理事長 小野瀬裕義

1年半ぶりにカラーのあいあいになりました。昨年三月の大震災以降、機関紙「あいあいあい」は手書きで月2回発行してきました。これは、組合員さんの状況や生産者の安否・被害状況、全国からの支援の情報等を出るだけ早く伝えるためには手書きにして生協で印刷した方が良かったことによりです。また、震災直後の経費節減にもなりました。

電の風車を設置することになっていきます。もともと大きな被害を受けた石巻市の高橋徳治商店さんは、昨年秋季に多くのボランティアの援助で泥に埋まった工場を綺麗にして一部で操業を再開しましたが、地盤沈下や将来のことを考慮して東松島市の大塩地区の丘陵地で新工場の建設を開始しました。

交流を計画しております。更に歌津のかき生産者の激励やたくさんの水産業者の復興もあり、課題は山積みになっていきます。

1年半で被災地も少しずつではありますが復興が始まっています。田畑を全部流され、自宅も被災した仙台市東部の七郷みつば会さんも、農事組合法人を立ち上げ、協同でトマトの施設栽培から始めることになり、ハウス建設が始まります。ハウスが完成次第、復興のシンボルとして5kW発

この八月に泉AB地区の組合員が高橋社長さんの案内で被災地研修をかねて新工場の建設現場を見学して交流してきました。新工場の敷地の向かいには仮設住宅が立ち並び、復興はまだまだという印象を強く感じていきます。

このようにたくさんの生産現場の現状や問題や組合員の交流・支援活動を幅広く組合員全体にお伝えするにはページ数も多く、写真も掲載出来、見易い紙面作りが出来る以前のようカラー印刷のあいあいがいが必要となり、今回より再開になりました。

皆さんの情報やご意見をお寄せ下さい。

### 今月の表紙の写真

泉AB地区で石巻の高橋徳治商店へ訪問したときの様子。詳細はP2をご覧ください。

## 報告

# 8/22(水)《 高橋徳治商店 高橋社長と行く石巻 》

総代会で高橋社長はおっしゃいました。

「石巻を見に来てください。」

それを受け泉AB地区ではバスツアー企画を開催。総勢46名で工場にお邪魔させていただきました。小さなお子さんもいる中、参加者全員が定刻に集合。皆さん、気持ちの入れ方が違います。



### 新工場(東松島)建設予定地、海岸、港付近、第二工場へ

息子さんの高橋利彰さんがバスに同乗し地域を丁寧に案内してくださいました。利彰さんのお話を皆真剣に聞き入っていました。

### 本社工場へ

高橋英雄社長が、震災当時の様子や避難所での経験を話してくださいました。社長の言葉一つ一つを、皆真剣に聞き入ります。機械についてのヘッドロを石けんで手洗いされたそうです。社長はこれ以上海を汚さないために生活排水などの水環境にも気を配っていらっしゃいます。そこでいただいた、揚げたての「おとうふ揚げ」の味は絶品でした。素材の味をシンプルに活かしたその味は、皆さんの想いが沢山詰まっていることを改めて実感しました。

工場内では皆さん緊張されて発言が活発ではありませんでしたが、車中での感想発表では、到着までに全員終わらない程、皆さん熱くお話しされていました。



## 参加者の声

- ・社長の心の大きさに感嘆した・利彰さんに説明していただき、得難い1日だった。
- ・おとうふ揚げを見る目が変わった・見ると聞くとは大違い。
- ・自分は何をしたらよいか、どのように生活していけばよいか沢山考えたい。
- ・食のこと、水のこと 環境のことなども お話くださって自分も生活を見直すきっかけになった。石けんを使用されていて とても嬉しかった。
- ・震災瓦礫の処理問題、放射能問題、家族のあり方、食事の事など、生活の見直しや生き方についてまで お話をしてくださいました。
- ・震災から ずっと関われずにいたことを後ろめたく思っていた。この会をきっかけに何ができるか考えたい。

今後も沢山の会話や議論に繋げ、交流を深めていきたいです。

社長、利彰さんをはじめ高橋徳治商店の皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

泉B地区担当理事 砂子啓子

## 組合員のあつまりどころ 秋のフォーラム に集まろう！

### あいコープみやぎ『3年到達ビジョン』の1年目がスタート！

あいコープみやぎ秋のフォーラムは、11月に10地区で開催されます。6月の総代会で決された3年ビジョンのそれぞれの項目の、どんなことが、どこまで進んでいるのか。これからどんな活動をして、自分達が求めた地点に到達できるのか。みんなで集まり、意見交換しましょう。

話し合うことは大切な事です。原発のこと1つとっても、事件が起きてから、または結果が出てから「そんな事とは知らなかった」が日本での通例です。せめて、自分達の組織はそんなことにはならないように、十分に自分達で議論して、わかりあって進んでいきたいではありませんか。

下記に、《3年到達ビジョンの1年目、こんなふうに進展

しています！》という点を紹介しました。会場には、もっと詳しく、進展状況がわかるようなアイテムを準備します。それを使って、自分の意見を言ったり、仲間の言葉にも耳を傾けたりしてみてください。

この秋のフォーラムは、地区の枠を飛び越えて参加できます。お友達同士なのに、住んでいる所が違うから一緒にあいコープの企画に参加できなかった人も、この企画は大丈夫です。まだ、未加入のお友達もこのチャンスに誘ってみてください。

参加申し込みは別紙にて配送されます。締切りを守って、お申し込み下さい。

#### 1. 一人は万人のために、万人は一人のために、を地域で体現する生協に！

- 仙南地域（白石市等）へ供給エリアを広げるための調査を行なっています。
- 今回の秋のフォーラム会場をアンテナショップ風にしてみました。



#### 2. 東北の復興は地産地消の再構築から！ あいぶらんど・あいごはんで食卓作りを！



- 「海のあいぶらんど」産地形成に向け、地区を3つに分けて、石巻、唐桑、歌津へ、組合員が訪問し、生産者と交流します。  
☆右のページに、8月に開催した「石巻生産者交流」の報告があります！
- キッズスクールを全6回開校。7月29日には、迫NF自然村の袋さんを校長先生に迎え、自然観察体験をしました。11月は、水環境の事を学ぶ体験をします。来年5月には、シャボン玉フォーラム in みやぎの分科会で発表の場が設けられます。

#### 4. 被害者にも加害者にもならない暮らしを実現！

- 米に続き、野菜栽培での‘ネオニコチノイド系’農薬削減について、生産者との間で学習・取り組みが始まっています。
- 来年5月には、あいコープみやぎが受け入れ団体となり、シャボン玉フォーラム in みやぎが開催されます。組合員活動を基本に分科会を準備中です。

#### 3. エネルギーも一緒に地産地消！脱原子力を進め地域でのエネルギー自給に挑戦！

- 自然エネルギーナビゲーターが活動をはじめ、生活の見直しを行なっています。
- 日の出町センター屋上に40kw/hの太陽光発電パネルを設置しました（下写真）。



#### 5. 困った時はお互い様の地域社会実現！

- Wa! わぁ祭りで、被災地復興コーナーを企画中です。
- 石巻市渡波のお茶っこスペース“よってがいん”もサポートするケアメイトを募集します。

オープニング～今年も関上太鼓さん！



年に1度 まんま通信の生産者に直接会えるお祭り

Wa! わぁ祭りへの生産者出展は、60 団体以上！  
地区委員会が担当の生産者ブースで交流します！  
あいコープみやぎの地区委員会は、県内 10 地区。  
生産者と組合員と職員の協同で作り上げるお祭りです。



Wa! わぁ祭り実行委員会

keyワードは、“あい”を探せ！  
“あい”をさがせラリー

生産者の方々と会話をして、あい(想いやこだわり)を書いて提出するとプレゼントがもらえます。

復興への歩み

あいコープの仲間たちの今日までの一步一步をパネル展示。これからへの希望・夢に繋げましょう。

被災地支援の活動をしているNPO「ふらいパンダ」と、巨大カステラ作りをしましょう。材料は、あいぶらんどど‘花たまご’と、‘パスちゃん牛乳’です。

# Wa! わぁ祭り

あいコープには‘あい’がある うまいものにも‘あい’がある  
keyワードは‘あい’を探せ！

日時

2012年10月28日(日)  
10:00～15:00

場所

仙台市卸町センター  
産業見本市会館「サンフェスタ」

ジョイケア

ケアメイトフレンズの会

お買物、出店で疲れてきたら、ちょっとリラックスしてみませんか？

ストレッチ体操&ジャンケン大会

勝ち残った方には、アクリルたわしをプレゼント！

手作りグッズ販売

仮設住宅などで被災者の方々が作ったグッズを販売するコーナーを設けます。

あいぶらんど運動推進委員会

男のあいごはん～事業部職員より～

‘のら牛’を‘趙さんの焼肉のたれ’で漬け込み、玉ねぎのスライスと炒めたものを熱々のどんぶりにのせます。いつもの「あいごはん」美味しいこと間違いなし！

あいぶらんど検定(クイズ)

まんま通信の裏面でお馴染みのあいぶらんど検定。お祭りでは、各ブースにこのクイズを設置します。ステージにて答えを発表しますので、答えを準備してお集まり下さい。解答用紙は会場にて準備致します。正解者には、もちろんプレゼントがあります。お楽しみに！

石けん環境委員会

ひろがれ、ひろがれ、布ナブキン&布おむつ

布ナブと布おむつが体や心にもたらす効果をまとめたものを展示します。また布ナブ、布おむつのビギナーさん向けの相談や、せっけんに関する質問にもお答えします。布ナブのワークショップも行います。(布ナブは有料です)

年に一度の「Wa! わぁ祭り」いよいよ今月28日(日)開催です！

組合員と生産者がさらに交流し、あいコープの商品や活動について相互理解を深めるWa! わぁ祭り。2012年のテーマは「あいコープには“あい”がある。うまいものにも“あい”がある。keyワードは“あい”を探せ！」です。百聞は一見にしかず。普段会えない生産者のみなさんの上手い技術と美味しい味を作りだすこだわりを、そしてあいコープの“あい”を見に来て確かめて下さい。

組合員みんなで参加して、第24回Wa! わぁ祭りを盛り上げましょう。

Wa! わぁ祭り実行委員会 担当理事 高澤ますみ

あいコープふくしま

あいコープふくしまの組合員さんが、お祭りに来てくれます。福島のことを知ってもらおうブースを出展します。福島の方と一緒に、交流しましょう。

子ども達の未来のために脱原発を進める委員会

太陽光で動くおもちゃを作るコーナー

脱原発関係のミニシアター

脱原発のパネルと自然エネルギーの取り組み紹介展示

食事をしながら、気軽に見て、でもちょっと考えてもらえるきっかけに。

組合員さんから集まった省エネ・自然エネルギーの取り組みをお知らせします。また、脱原発のパネルを見ながら脱原発についてみなさんとおしゃべりできたらいいな…と考えています。

生産者企画の紹介は、実行委員会発行ニュースをご覧ください。



10/4 (木)

畜産学習会



米沢郷鶏のひみつ!?

場所/エルパーク仙台セミナーホール 時間/10:00～12:00  
米沢郷牧場が所有する中で、最も広い鶏舎の道を挟んだ真向かいに‘道の駅’が建ちました。普通、鶏舎は二オイやハエの発生などの問題から人の生活圏から少し離されます。なのに、なぜ？道の駅には美味しいものがたくさん。ハエは寄ってこないの？

「見える畜産」、「本物の産直」を目指す米沢郷牧場。耕・畜・消の連携を経て、私たちの手元に届く健康な鶏肉のヒミツをお教えします。

11/8 (木)

農産学習会



農業は何の為?誰の為?

場所/青年文化センターエッグホール 時間/10:00～12:00  
農業を使用した作物としない作物。あなたはどちらを食べたいですか?買いますか?今、生態系や健康への影響が問題になっているネオニコチノイド系農薬をご存じでしょうか。あいコープみやぎではその農薬を排除したいと考えていますが、そう簡単なものではありません。農業の歴史、生産現場、農薬不使用に至る為の作物の状態などを学び、消費者としての「知る責任」を果たしましょう。

12/3 (月)

福祉学習会

「季節めぐり それぞれの居場所」上映会

場所/エルパーク仙台セミナーホール 時間/10:00～12:00

宅老所利用者と介護スタッフたちがともに作りあげた“それぞれの居場所”を見つめたドキュメンタリー映画です。石巻市渡波の地域サロン「ちょこらい」も描かれています。あいコープも、食材をお届けしていて、この映画にも登場します。また、上映後に佐藤義夫氏と伊藤英樹氏に介護の現場から見た「地域コミュニティー」についてお話いただけます。

■今月のおすすめ

「90歳ヒアリングのすすめ」

古川柳蔵・佐藤哲著 日経BP社

戦前に成人し、エネルギー消費量が現在の半分だった1960年代に40歳になり、生計を立てていた、いま90歳の人たちにヒアリングし、暮らしの知恵を紹介しています。昔に戻ろうというわけではありません。でも、自然と共生する知恵や足るを知る「ちょうど良い暮らし」のヒントがたくさんあります。「まずは、やってみること、自分で考えること、ま、自由におやんなさい」90歳の人の言葉です。



去る九月二日(日)に、勾当台市民広場で「エコフエスタ」が開催され、私たちは「ひろがれ、ひろがれ布ナプキンと布おむつ」と題したブースを出展しました。布ナプと布おむつは、今年の石けん環境委員会で、一番力を入れている活動です。

あいコープのチラシから、紙おむつが無くなったのは、組合員から「ポリマーが入って、環境負荷にもなり、ゴミにもなる物をなぜあいコープで扱うのか」という疑問の声からでした。

また取り扱うべきナプキンを検討している中で、「ノンポリマー」の紙ナプキンに水を含ませる実験をしたところ、紙ナプキンはどンドン膨らんでいきましました。少量ですがポリマーが入っていたのです。「こんなに微量でも、水分を含むと膨らむのか…」と愕然としたということもありました。

色々調べると、ゴミ問題

や環境負荷、そして体への害の他に、一番大事な事に気づかされました。それは「生理が不快と誰が決めたのか？」ということ。私達が初潮を迎えた時には、すでに紙ナプキンがあり、周りの大人から入ってくる情報はネガティブなものばかり。その時、誰かが「布ナプ」という選択肢を与えてくれたら、私が初潮を迎えてからの三十年は、全く違ったかもしれないと。

石けん環境委員会は「石けんを切り口に環境問題を考える」活動をしています。そしてその活動は、いつも思いがけない「たいせつなこと」との出会いであり、組合員にも共有して欲しい出来事ばかりです。十一月二日(金)に環境学習会を開催します。是非ご参加下さい。

石けん環境委員会

担当理事 高崎 かわり

原発に頼らない社会へ

原発 《しゃべり場》へ参加を!

今年の夏、使用電気量は当初見込みより少なく、実

は原発を再稼働しなくても乗り切れたのではないかといわれています。また、現在、東京の首相官邸前の抗議行動をはじめ、ここ仙台でも原発を訴えるデモや集会が続いています。この流れは一過性のものにするのではなく、長く続けなければ原発に頼らない社会は実現できません。

脱原発委員会では、よりいっそう組合員とこの意識を共有するために、今年度は各地区委員会と一緒に脱原発について話し合う「しゃべり場」を行っています。原発の危険性、使用済み核燃料の問題、自然エネルギーのこと…いろいろなことを組合員同士で学びあいたいと思っています。ご自分の地区で「しゃべり場」がありましたら、ぜひ参加してみてください

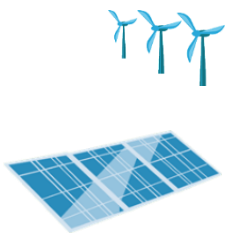
い。その他にも映画の上映会なども企画中です。

また、自然エネルギー・ナビゲータの活動も始まりました。自然エネルギーのことや省エネのことを学び、組合員に広め、エネルギーの地産地消を目指していきます。

活動の様子は「Clean Peace Letter」等でお知らせします。エネルギーの問題は他人事ではなく、私たちみんながどのような社会を選択するのか考えなくてはならない問題です。子ども達に原発のない社会を伝えるために、できることをやっています。

子ども達の未来のために  
脱原発を進める委員会

担当理事 斎藤 郁子



理事会議事録抄

二〇一二年九月四日/あいコープみやぎ日の出町センター会議室

▼今期活動計画に基づく次の企画の内容について協議・決定した。秋のフォーラム「組合員の集まりどころ」<sup>10/19</sup> エコシユリンプ生産者交流会、<sup>11/2</sup> 環境学習会。▼3年ビジョンに対応した3カ年事業計画<sup>(2012~14)</sup> 数値計画)について協議した。▼今後の「のら牛」政策について協議し田尻産褐毛和牛と田口農場産交配牛を別ブランドとして取り組むことを決定した。▼PBつゆ再開発へ向けた試作を行う旨の報告を承認した。

編集後記

生協あいコープみやぎ機関紙「あいあい」は、昨年の震災後から、タイムリーな情報発信と経費節減のため、手書き手刷りで月2回発行してきました。あいコープみやぎの取組みや



～3回シリーズ～  
吉武洋子エッセイ  
第1回

害虫・益虫、誰が決めるの？

ネオニコチノイド系農薬に反対の人が言う「ミツバチを殺さない農薬を」、ごもつとも千

万。でも、揚げ足取るわけじや

ないけど、ミツバチや赤トンボは

だめでも、アブラムシやカメムシ

やイナゴやバッタや蜘蛛だった

ら死んでもいいの？ミツバチは

授粉や蜂蜜で人の役に立つか

ら殺しちゃいけない、カメムシ

は斑点米の原因だから殺してい

いいの？ひよつとして「蜘蛛」な

んて漢字見るだけで気持ち悪

いのかな？虫だけじゃなくて草

だって同じ目に合っているよね。

でも、そういうのって怖くない？

だって人の役に立たない昆虫や

動植物だったら殺していいって

ことは、役に立たない人間もそ

うしていいってことに繋がるよ

ね。ナチスが「社会の役に立た

ない」障碍者を何万人も殺し

たのは、ほんの七〇年前だよ。

人の役に立つとか立たないとか、そんなことじゃなくて、自分の心で感じてみない？ミツバチや赤トンボが素敵な存在なのは言うまでもないけれど、蜘蛛だって「クモの巣」を作るだけで素敵と思うのは私だけじゃないよね。たった一匹で、あんなに精緻で見事な芸術品を、しかも毎日作るなんて、人間は及びもつかないもの。

我が家の田んぼにはカエルやドジョウが沢山、蜘蛛が沢山、バッタも沢山、そして見えないけどカメムシも沢山、カマキリも赤トンボも鴨も鷺も来る。バッタは稲の葉を齧り、カメムシは稲穂を吸る、蜘蛛がバッタやカメムシを食べ、カエルが蜘蛛を食べ、鷺に食べられる。

口先で生態系を守ろうとか生物多様性とかいうのは簡単だけれど、もし本気で思うなら、ミツバチもカメムシも人間も、同じ「地域住民」として互恵平等に生きることを大前提にしなくちゃと、みんなの居心地がい

いように、特に稲様の居心地がよくなるように、真っ黒になつて草取り！をしている私です。

ジョイケア

ジョイケアシステムは、助け合い支え合いの仕組みです。組合員の毎月 100 円の拠出金によって支えられている全員参加のあいコープみやぎ独自の地域福祉活動です。地域サロン「よってがいに」、社会福祉法人「みんなの輪」への支援、ベガルタ・バリアフリーサッカーへの賛助金、ビッグイシューの支援など、地域福祉にも役立てられます。

◆組合員が個人で利用できるサービスもあります◆

組合員が個人で利用できるサービス

- 1 たすけあい
- 2 集団託児
- 3 電話相談
- 4 ささえあい
- 5 慶弔

●お問い合わせ／あいコープみやぎ ジョイケア事務局  
TEL 022-284-7277 FAX 022-284-6973  
開局時間 9:00～15:00 (土日祝日除く)

ケアメイト  
募集中!

石巻渡波の地域サロン

よってがいに

石巻市渡波地区の地域サロン「よってがいに」をケアメイトと訪問しました。ここは、近所で独居生活をされているお年寄りや障害をもつた方も利用されています。皆さんの明るい笑顔や雰囲気から、「よってがいに」は、心の拠り所です。無くてはならない居場所です」ということが伝わってきます。あいコープとは、前身である「ちよこらい」からの縁で、現在「よってがいに」は、あいコープ組合員です。安心して過ごすことができるように、食材の提供と話し相手や家事支援など、細く長く支援したいと思えます。

組合員の皆さんに、ケアメイト登録などのご協力をお願いいたします。

ジョイケア担当理事 鈴木智子

ジョイケア利用状況

(2012年7月分)

ささえあい(保障)	0件
たすけあい(ケア)	66件
集団託児	24件
慶弔・出産	13件
電話相談窓口	2件
計	105件

組織概要

(2012年8月分)

【組合員数】	15,587名
【供給高】	181,891千円
【一人当たり利用高】	24,795円
【出資金】	1,000,354千円

活動、生産者や組合員の復興の様子を書いてきました。このたび、震災前の8ページ冊子型に戻り、次号はWa!わあ祭り報告特集として十一月末発行します。あいコープみやぎは、私たち組合員で作りを上げていく生活協同組合です。「あいあい」はこれからも、皆さんの活動の輪が広がる紙面作りを目指していきますので、ご意見ご協力よろしくお願いたします。

広報担当理事 吉野むつ



# みんなの あいごはん

vol. 1 秋野菜の混ぜご飯  
今回のあいぶらんど商品  
～米～



## 秋野菜の混ぜご飯(2人分)

- 米 ……2合  
野菜類 里芋…1個  
人参…1/3本  
れんこん…3cmほど  
ごぼう…1/3本  
こんにやく…1/3枚  
小揚げ…1枚  
(あればかんぴょう…30cm程を1cm角に切る。)  
調味液 こだわりのつゆ…50cc  
こんにちは料理酒…大さじ1  
国産丸大豆醤油…小さじ1  
水…100cc  
菜種油…大さじ1程度

### <作り方>

- ①お米は洗い、普通に炊く。(出来れば炊きあがりにすぐ混ぜたいので、野菜類の準備が済み次第、炊飯器のスイッチを入れる。)
- ②野菜類は1cm角に切り揃える。鍋に菜種油を入れて、野菜類を十分に炒めます。
- ③野菜の硬さの具合を見ながら、調味液で炒り煮にします。
- ④炊き上げたご飯に③を混ぜる。

トンボや、バッタが飛び交い、涼しさが増してきて、炊きたてのご飯の香りも食欲をそそる、そんな季節になりました。

新米の、お刈り上げの時期、宮城では一般的によく食べられるのはお餅やおこわですが、茨城では秋野菜をお米に混ぜたものがお祝いの一品だったようです。秋野菜の混ぜご飯に使われる、里芋、れんこん、人参、ごぼうと野菜類もちょうど新物ですね。茨城では、お国柄かんぴょうの生干しなるものが入るようです。

味がかもしだして、鶏肉があれば、と思う人もこれほど十分だと納得の様子。ごぼうや人参が硬いのは、と思う方は切り方や、炒め煮の時間を工夫すると良いかもしれません。

調味料はレシビ通りがおすすめてですが、こんにちは料理酒の代わりに一般の料理酒を使う場合は、大さじ三程度の量にしてください。

、お刈り上げを祝って食べられた郷土食を戴きながら、無事にお米が収穫されたことへの感謝の気持ちが湧いてくる一品です。

NPO法人とうほく食育実践協会  
食育コンダクター  
前田みさ子

## Calendar

### 組合員が利用できる電話相談窓口

受付専用電話番号 **022(284)7277**  
(平日 9:00～15:00)

◎各相談窓口前週の金曜日(～15:00)までに予約して下さい。随時受け付け可能です。

◎予約していただいた方には相談日に相談員からお電話します。

#### 10/9 年金相談

相談員：社会保険労務士 兵藤雅行氏  
火 相談時間：13:30～15:30

#### 10/9 法律相談

相談員：弁護士 松澤陽明氏  
火 相談時間：13:30～15:30

#### 10/9 思春期相談

相談員：スクールカウンセラー 濱中ミオ氏  
火 相談時間：9:00～11:00

#### 10/16 子ども相談

相談員：宮城教育大学教授 菅井裕行氏  
火 相談時間：10:10～12:00

#### 10/16 暮らしの相談

相談員：消費生活専門相談員 加賀敦子氏  
火 相談時間：10:30～12:30

10/4 木

#### 講演会「米沢郷鶏のひみつ!？」

～あいぶらんど運動推進学習会・畜産編～  
講師／米沢郷牧場 伊藤幸蔵氏  
場所／エルパーク仙台セミナーホール 時間／10:00～12:00

10/19 金

#### エコシュリンプの生産者との交流会

講師／インドネシア・シドアルジョの生産者とATINA 社スタッフ  
場所／エルパーク仙台セミナーホール 時間／13:30～15:30

11/2 金

#### 環境学習会「石けんの基本の‘き’」

場所／情報産業プラザ(アエル 6F) 時間／10:00～12:00

11/8 木

#### 講演会「農業は 何の為？誰の為？」

～あいぶらんど運動推進学習会・畜産編～  
講師／NPO 法人民間稲作研究所 稲葉光國氏  
場所／青年文化センターエッグホール 時間／10:00～12:00

12/3 月

#### 福祉学習会 「季節めぐり、それぞれの居場所」上映会

場所／エルパーク仙台セミナーホール 時間／10:00～12:00

## 11月は 秋のフォーラム

全地区で開催される、秋のフォーラムにご参加下さい。後日配布のチラシでお申込み下さい。

ご意見ご感想は配送、もしくは FAX(022-284-6973)にて 班名、組合員番号、お名前、電話番号をお書きの上、お送りください。